

伊東市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和6年6月27日（木曜日）

午後2時30分～午後4時30分

2 場 所 伊東市役所高層棟地下会議室

3 出席者 教育長 高橋 雄幸 委員 村上 恵宏

委員 遠山 泰範 委員 辻 恵

委員 北岡 ゆうこ

4 参 与 教育部長 浜野 義則 次長兼教育総務課長 杉山 宏生

教育指導課長 森田 まり 幼児教育課長 鈴木 慎一

生涯学習課長 山下 匡弘 政策推進担当課長 肥田 耕次

5 事務局 教育総務課課長補佐 二宮 悠 主査 藤原 真紀

6 会議の経過

高橋教育長：ただ今から伊東市教育委員会6月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

（事務局から出欠報告及び資料確認）

高橋教育長：それでは議事に入る。始めに、教育長報告を行う。6月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

5月25日 運動会訪問（大池小、宇佐美小）

26日 伊豆伊東高校野球部定期戦開会式

27日 幼稚園園長会要望、宇佐美小150周年記念碑区役員来庁
タウンミーティング（新井）

28日 MOA美術館理事来庁、熱海市教育委員会訪問

29日 第1回伊東市社会教育委員会

30日 タウンミーティング（荻）

- 6月 1日 運動会訪問（伊東小、南小、池小、富戸小、八幡野小）
ごみゼロ運動クリーン作戦、
第42回三浦－伊東ヨットレース表彰式・懇親会
- 3日 不登校相談員面談（門野中）、タウンミーティング（十足）
- 4日 教頭会、静岡教育公務員共済会役員来庁
- 5日 タウンミーティング（富戸）
- 7日 校長会要望
- 8日 ふるさと教室・夢チャレンジクラブ開講式
- 9日 第51回伊豆フィル定期演奏会
- 11日 県市町対抗駅伝競走大会伊東市実行員会
- 12日 幼稚園長会長・校長会長来庁
- 13日 伊東市文化協会総会・記念式典、伊豆伊東高校校長来庁
- 14日 市議会（一般質問）
- 17日 市議会（一般質問）
- 18日 市議会（一般質問）
- 19日 市議会（議案審議）
- 20日 市議会（福祉文教委員会）、タウンミーティング（小室）
- 21日 東部社会教育振興協議会研修会（三島市）
- 23日 伊東シティウインドオーケストラ定期演奏会
- 24日 宇佐美小学校150年記念碑除幕式、市未来ビジョン会議
- 25日 校長会、ジャズダンス協会来庁、国際交流協会会長来庁、
タウンミーティング（宇佐美）
- 26日 田方地区教科書採択連絡協議会、
伊東警察署少年警察連絡協議会 総会・懇談会

27日 教育委員会定例会、タウンミーティング（湯川）

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：それでは、各委員からの報告をお願いします。

委員：伊東小学校の運動会に参加させていただいた。前日が雨で、当日にPTAや先生方の協力のおかげで、整った会場でできた。PTA会長との話の中で、PTAの協力を募るのに、アプリを使っているが、何人ぐらい集まるかというのもしっかり把握ができるし、たくさん協力してくれるので、校長先生も、PTA会長も、新しくなった組織だが、そういう部分はうまく運営していると思った。かなり日差しも強くて、子供の人数も増えたので、既に行っているかもしれないが、日程を同じ日にしないようにすれば、備品をシェアできると思う。もちろん内容は子供たちもとても楽しそうに、コロナ前という感じまではわからないが、それに近いぐらい盛り上がって、保護者の方も楽しんでいたように感じた。

委員：伊豆伊東高校の1年生を対象に、PTAの事業で、毎年、伊東市の企業事業所の会社幹部の方が来て、会社の概要を説明するだけで終わってしまうので、就職を希望する子が、伊東の企業の中身を知るために、令和6年度は、実際現場で働いている人とか、仕事で関わっている人たちが来てもらい開催することができた。私も役員なので参加させてもらったが、商工会議所に加盟している企業事業所で29社来て、1年生240人を対象に、1人15分で、3社をまわるという内容で、実際現場で働いている人とか、仕事で関わっている人たちが来たので、いい面も伝えることができるし、デメリットの面もしっかり話をして、会社の様子や、仕事の風景を撮影して映像を流したり、どこの会社も工夫して、子供たちも、一生懸命話を聞くし、メモを取るという形で、やっ

てよかったと思った。今回、高校生が対象だったが、小中学生を対象にできるといいと見ていて感じた。

高橋教育長：どういう形でやっていくのがいいのか、またできることは取り入れていきたいと思う。

高橋教育長：次に議題に入る。始めに、議決事項、教議第2号「伊東市立小・中学校における適正な学校規模及び配置のあり方について」を議題とする。

（**杉山次長兼教育総務課長**から資料に沿って説明）

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：メンバーについては、ほぼ決まったということでもいいか。

杉山次長兼教育総務課長：団体の方には話をして、メンバーの推薦をいただいたのでほぼメンバーは決まった。

委員：前回の教育問題懇話会が設けられた時に携わっていた方が、今回もメンバーにいるのか。

杉山次長兼教育総務課長：前回のことをよく知っている方を充てたいと思い、伊豆介護センターの稲葉氏に依頼して受諾いただいている。

村上委員：令和7年2月までの6回の話し合いの中で、大体どこが統合とか、例えば一貫校にするとか、その辺まである程度具体的に決めてしまうという感じなのか。

杉山次長兼教育総務課長：そのように考えている。スピード感を出すためにはある程度、スケジュールを決めていきたいと思うが、逆に急ぎすぎてもいけないので、スケジュールを決めながらも、進め方としては慎重に進めていきたい。

高橋教育長：この会議は公開、非公開で行うのか。

杉山次長兼教育総務課長：伊東市教育問題懇話会設置要綱第5条の4で公開となっている。会長が委員に諮って非公開とすることができる。

高橋教育長：教育委員の皆さんが会議を聞きたいとなれば、公開という形でよろしいか。

杉山次長兼教育総務課長：特に問題ない。市の会議は原則公開が前提となっている。

委員：懇話会のメンバーは、関わってくるであろう宇佐美地区、対島地区などそこに住んでいる方を委員として選出しているのか。

杉山次長兼教育総務課長：我々も、メンバー的には入っていた方がいいと思いつつも、団体の方からの推薦で、こちらから特に指名しているわけではないので、概ね入っているが入っていない地区もある。

委員：その地域に住んでいる人が入っていた方が、話の流動性が保たれると思うのだが。

杉山次長兼教育総務課長：委員が7人と決まっているので、それ以上増やせられないところでなかなか難しいが、懇話会の後、実施計画に至る中で、地域協議会の場に諮っているので、その中で地域の意見を吸い上げられると思う。

高橋教育長：地域の方には理解していただいて、地域の要望もあると思うので、そこは最大限、教育委員会としても聞きながら、やっていかなければならないと思っているので、そこでしっかり対応していきたいと思う。

委員：教育委員会である程度の基本方針がまとまったものを、地域協議会に確認をして、その意見を反映して具体化というようになっているが、まとまったものに対してどうかというと、微調整はできるかもしれないが、大幅な変更は難しくなりそうだと思って、ある程度素案ができた段階で、この懇話会から、地域協議会の方に意見を吸い上げるような、そういう機会を途中に挟めたらいいと思う。

杉山次長兼教育総務課長：基本方針を示す中では変更はできるものなので、そ

こでは意見をとれると思うが、あくまでも懇話会の中では、自由な意見を尊重しながら、最終的には基本方針を固めて進めていくという形になる。

委員：基本方針の中にそういうものをヒアリングすると謳われていると意識したりするので、具体的な意見を聞いた上で、基本方針の作成に入っていければと思う。

杉山次長兼教育総務課長：また懇話会を進めていく上で、懇話会の委員さんがいろいろな意見を吸い上げてきていただいて、そこで出してもらいたいような感じで進められるように努力はしていきたい。

委員：その基本方針を出すまでに、ホームページで公開するとか、パブリックコメントを参考にするか、そのような形で進めるのか。

杉山次長兼教育総務課長：どう出していくかはまだ検討段階と思っている。最終的にはある程度話し合いの中で固めていきたい。

高橋教育長：様々な意見が出たので、その辺を事務局も含めてもう一度、具体的な手立てを考えていきたいと思う。

高橋教育長：それでは、この件について確認する。教議第2号「伊東市立小・中学校における適正な学校規模及び配置のあり方について」は、原案どおり承認してよろしいか。

(異議なし)

高橋教育長：委員の皆様から承認が得られたので、教議第2号については原案どおり決定した。次に、報告事項に入る。教報第3号「令和6年度夏季休業中における児童生徒の指導上の留意事項について」を議題とする。

(森田教育指導課長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

高橋教育長：市町によってはコロナの延長ということで、プールを開放しない

という市町があるという報道もあったが、伊東市はどのような状況か。

森田教育指導課長：コロナ禍で一旦ゼロになり、その後再開した学校はない。

P T Aの方々と相談する中で、なかなか安全性を保って実施することが困難で、今、気温が高すぎてプールにも入れないという日もある。保護者の心肺蘇生などの講座についても、実施が困難になっている。

高橋教育長：また再開することがあるかもしれないが、今のところは、まだはっきりとした情報はない。

委員：自分の命を守るという着衣水泳は、今も実施されているのか。

森田教育指導課長：実施している。時期等については、学校によって違うが、例年、4年生で実施するなど、6年間のうちで1回は実施している学校もある。例えばダイバーの協力を得て、決められた学年が毎年経験するというように進めている学校もある。

高橋教育長：次に教報第4号「夏季休業期間中における教職員の服務及び学校施設等の管理について」を議題とする。

（**森田教育指導課長**から資料に沿って説明）

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：以前に学校の先生が、地元の企業を知ろうということで研修にきたことがあった。最近では、市外から、特に都会の学校が4校まとまって、先生が20人ぐらい、小学生が100人ぐらいで来る。ボーイスカウトやガールスカウトとは別にこういう研修の機会はないのか。

森田教育指導課長：中堅教諭研修というのが以前行われていて、ある一定の経験年数を積んだ教諭が、学校現場を離れて、社会の中での学びを学校での教育に還元するということで、その内容については、その教員個人の企画によるものなので、旅館業、観光業とかに興味を持った教員が研修をさせてもらうとい

うことでお願いをしたのではないかと思います。学校を出て一般企業にお願いしてという機会は今のところはない。

高橋教育長：そういう研修があれば積極的に受け入れてもらえるということでもよろしいか。

委員：可能である。以前、伊東高校の1年生がオリエンテーションで、集団行動の一環として配膳から布団敷までを行い宿泊していったが、先生の研修の受け入れもぜひできればと思う。あと国際交流の観点から、外国人の大学生にも働いていただいたり、研修していただいたり、年齢問わず、伊東の観光業を知っていただきたい。

委員：夏休みは長いし、両親が仕事に出る家庭も多いと、子どもたちが家庭や、外出中にトラブルがあった時に、まず初めに自分の親に連絡するのが当然だと思うが、それができなかったときに学校であったり、学校が閉庁しているときは、教育指導課なりと、緊急時の連絡先などは、学校から夏休みに入る前に家庭との情報の共有はあるのか。

森田教育指導課長：教育指導課の電話番号については、子供をとおして配布する長期間の過ごし方の便りの中に、子供にもわかるようには記載しており、それを説明して子供に持たせて休みに入るようにしている。今のところ幸い大きな事故もなく、実際家庭から長期間中に、教育指導課の方に連絡がくるというのは通常ほとんどない。

委員：できたら携帯のアプリで、夏休み入ってすぐでも家庭の中でも、留守中に何かあった時に、そういう窓口があることを子どもたちにもしっかり周知されると、熱中症も含め、緊急の場合の対応として安心して頼れるところを認識できる方法があるといいと思う。

高橋教育長：教育指導課をとおして、校長会や教頭会で周知する。

高橋教育長：次に教報第5号「夏季休業期間中における教職員の服務及び幼稚園施設等の管理について」を議題とする。

（鈴木幼児教育課長から資料に沿って説明）

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

高橋教育長：今休園している幼稚園があるが、休み中に限らず、警備は全部入っているという捉えでいいか。

鈴木幼児教育課長：現在休園中の施設が7幼稚園ある。夏休みに限らず、機械警備が入っているので、施設等、何か異変があった場合、異常を察知して警備会社から担当に連絡が行くという事になっている。それに合わせて週に1回程度、園庭の管理という形で、主にはゴミ拾いや草刈りだが、そういったところを福祉団体の方をお願いをされていて、巡回しながら、異常を確認しているというような状況である。

高橋教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：以上で報告事項を終了する。次に、その他「市議会6月定例会の報告について」を議題とする。

（浜野教育部長から資料に沿って説明）

高橋教育長：また見ていただき、何かあれば言っていたらと思う。

高橋教育長：次に、その他「伊東市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について」を議題とする。

（鈴木幼児教育課長から資料に沿って説明）

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：次に、その他「高校跡地体育利用事業について」を議題とする。

(山下生涯学習課長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：使用料は免除されるということだが、草の管理とか上下水道の管理は市の方で負担をするのか。そうするとどれぐらいのコストが年間かかってくるのか。

山下生涯学習課長：メンテナンス料については、市の負担になるが、負担額については浄化槽、火災報知器等、両校で12万円程度。これに夜間利用が始まるので、夜間照明電気代は未知数。あとは水道料だが、年間100万円程度ではないかと推定している。

委員：利用団体の方から納めてもらって運営していくのか。市の方から、ある程度補助を出して使用していただくのか。

山下生涯学習課長：伊東市が静岡県に払う使用料については免除である。利用団体の皆さんに払ってもらうのは、学校開放に準じた料金を、伊東市に対して納めてもらう。そして伊東市は、施設メンテナンス等のランニングコストなどを業者に払うという仕組みになっている。

委員：普段は学校の先生や職員がいると思うのだが、誰もいない時に、何かが壊されて、元々壊れていたとかそういうトラブルにならないのか。

山下生涯学習課長：学校開放という形で各小中学校の夜間の体育館、土日のグラウンドを市民の皆さんに提供して利用していただいているが、その利用の際には、各団体で管理指導員を置いている。管理指導員には、年1回研修を受けていただいて、利用する際に、各団体に使用責任者が必ずいるので、その人を通じて、施設の安全な利用、あるいは破損とかがあったときの報告をしてもらい、学校の教育利用の際に問題にならないような配慮をしている。

高橋教育長：次に、その他「令和5年度教育委員会自己点検評価シートについ

て」を議題とする。

(事務局から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：次に、その他「各課報告について」を議題とする。

杉山次長兼教育総務課長：令和6年度実施、令和7年度幼稚園教諭の採用試験の申し込み状況について報告する。6月7日に締め切り、2名の申し込みがあった。1名が大卒見込み、1名が短大卒業見込みの新卒者の方になる。6月30日が一次試験となり、そこでSPI試験と面接、作文の採点結果後、7月11日に試験委員会で決定をして、二次試験の方に進むことになる。

森田教育指導課長：生徒指導報告5月の集約結果について、問題行動は、小学校は引き続き生徒間暴力の方が多く報告されている。何気ないことでトラブルが発生するケースが多く見られる。また中学校では悪口や嫌がらせ、いたずら等の粗暴行為や、その他健全効果が複数報告されている。また、タブレットを使って他児童を撮影するとか、通信をするといったようなケースも報告されている。ネットトラブルについては、学校のICT活用の指導と併せて生徒指導の方でも指導している。

(森田教育指導課長から資料に沿って説明)

鈴木幼児教育課長：子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査の実施について報告する。

(鈴木幼児教育課長から資料に沿って説明)

山下生涯学習課長：特になし。

肥田政策推進課長：特になし。

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：幼稚園の応募が2名ということだが、実際採用予定は何名なのか。

杉山次長兼教育総務課長：5人募集をしている。

委員：追加募集するのか。

杉山次長兼教育総務課長：未定である。

委員：夏休みの過ごし方のところで、小学生の自転車の乗り方について、低学年でもスピードを出して自転車に乗っていたり、そのまま道路を横切ったりするのを見かけるので、夏休みに入る前に学校の方で注意していただけたらと思う。次に、今朝のニュースで、富士吉田の給食センターで、びわで120を超える人がアレルギー症状と話題になっていたので報告する。先日の朝、登校途中の1年生3人を見かけて、朝8時時点でまだ大池小学校に向かって歩いている途中で、しばらくして車でまた同じ所を通った時に、行きと同じ場所にいたので、大池小学校の方に電話させてもらって、「今、教頭先生が車で様子を見に行きました」とおっしゃっていて良かったが、そういう時に地域の人の見守りがあるのとないのと違うのかなと思った。

森田教育指導課長：自転車の乗り方については、夏休みの過ごし方の連絡とともに、もう1回各学校に注意喚起をさせていただく。

杉山次長兼教育総務課長：富士吉田の件について、今、伊東市の給食ではびわは出しておらず、うずらの卵の事故以来、球状の食材を出していない。栄養士と話しをする中で、びわというものをあまり食べてなかったりすると、それに対するアレルギー等を把握ができていない状況が考えられて、そのため結構な人数で症状が出たということ、あとは種の影響で、アレルギーの症状が出てしまうこともあるということなので、幼少期に食べておらず、小学校の給食時にアレルギーの症状が出て、そこで初めてわかるという場合はちょっと怖いところである。

高橋教育長：自転車の件は大池小学校の管轄になると思うので、校長の方には伝えていきたいと思う。

委員：昨日の伊豆伊東高校での職業説明会議に参加させていただいたが、その中で真面目に話を聞くというのが恥ずかしかったり、突っ張るような態度をする子がいる中で、話し終わった後に、先生が「お礼を言いましょう」と言って、11人から12人くらいの班が移動するのだが、その後、2人ぐらいの生徒が残って恥ずかしそうに直接お礼を言いに来てくれて、それが学校の教育なのか、家庭の教育なのかかわからないが、嬉しい一面があった。中学校や小学校など、早い段階で体験できた方が自分の将来の選択枠が広がるというか、視野も広がるし、できれば少しでも早くそういう体験をさせてあげた方がいいと思った。次に学校に不審者が来たときに、先生たちがどういう連携をとって子供さんたちを守っているのか。あと、中学校や小学校の暴力とは、どういうことが暴力に値するのか。

森田教育指導課長：防犯については、学校では夏休み期間中に、教職員が行う防犯訓練を行っていて、伊東署の方に協力をいただきながら、実際に不審者訓練とか、不審者が来たときに学校でどう対応するかというマニュアルと一緒に検証していただくような訓練を行っている。学校によっては、子供も実際に避難経路を確認したりする時もある。指導していただきながら年々起こる事案を参考に改良していくというような形で備えをしている。次に暴力については、幼い子ども同士で組み合うようなけんかもあるし、年齢が大きくなるとやはり力も強くなるので、怪我に結びつくような場面も実際にはある。

委員：廃校になっている学校と、休園になっている幼稚園の活用というところで、何か働きかけをしているのか。学校の配置の話が出ていたが、この地域にどれぐらいの人がいるというような、可視化できるような資料があればありが

たい。

杉山次長兼教育総務課長：旧学校の活用の仕方については、川奈小学校は、資産経営課の方で、今年度中に活用のためのプロポーザルの募集にかかる。旭小学校については、東部特別教育支援学校の伊豆分校が入っているが、市として持っている教室等もあり、そこに使用しなくなった備品があるので、それについては、来月町内会や自治会の方に、譲渡の案内を既に行っているが、それを7月末に行う。西小学校については、まだ備品の整理をしている状態なので、今後、どのようにしていくかというのは市長部局と一緒に協議しながら決めていくことになる。可視化のことについては、また資料を作って提示できるように考えていきたい。

鈴木幼児教育課長：休園施設の活用について、あくまで教育資産として今、休園中ということになっているので、一方で幼稚園としての再開は今のところ可能性としては低いと考えている。今後伊東市として考えられるのは、保育園と幼稚園を併せ持った認定こども園化を進めていくときに、今ある建物を壊して作るというよりは、休園中の施設を利用することも候補地としては考えられるので、認定こども園の建設も可能性としてないということであれば、教育財産というものを廃止して、資産経営課に、活用を図っていくような形でこれから進めていこうと考えている。

高橋教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：今後の日程について確認する。

事務局：7月の定例会については、7月23日(火)午後2時30分を予定している。8月の定例会については、8月21日(水)を予定とする。

高橋教育長：以上で伊東市教育委員会6月定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委 員 遠山 泰範

書 記 藤原 真紀